

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
管理会計論				遠藤 尚秀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	集中講義	有 (名)・無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>様々な組織（上場企業、商店、地方公共団体、病院、大学、NPO、社会福祉法人など）が生き残りをかけて事業を運営していくためには、客観的なデータに基づき、迅速かつ的確な判断が求められる。各種意思決定、短期・中長期の計画設定、業績管理に資する管理会計は、「組織経営の共通言語」であり、経営管理の重要なツールである。</p> <p>本講義の流れは、組織における経営戦略や経営管理上の課題を概観したのち、個別分野ごとの諸課題に対応すべく、具体的な管理会計の基礎理論、技法を確認する。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>本講義の目的は、目まぐるしく変化する外部環境に対応し様々な経営資源（人、もの、お金、情報等）を使って組織を運営するにあたり、各階層の経営管理者が、どのようなプロセスで経営戦略や経営管理を実践しているのかについて理解することにある。</p> <p>具体的には、以下の2点を最終到達目標とする。</p> <p>(1) 管理会計の基本的な理論と技法について習得する。</p> <p>(2) 具体的な管理会計上の諸課題に対応できる基礎力を養う。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	管理会計の体系と特徴（第1章）				
第 2 回	財務情報分析（第2章）				
第 3 回	短期利益計画とCVP分析（第3章）				
第 4 回	予算管理（第4章）				
第 5 回	資金管理とキャッシュフロー管理（第5章）				
第 6 回	差額原価・収益分析（第8章）				
第 7 回	中間まとめと事例研究				
第 8 回	小テスト及び解説				
第 9 回	原価維持・原価改善①（第13・14・15章）				
第 10 回	原価維持・原価改善②（第13・14・15章）				
第 11 回	事業部制組織の業績評価（第6・7章）				
第 12 回	個別構造計画と設備投資の経済性計算（第9章）				
第 13 回	戦略的事業計画（第10章）				
第 14 回	バランス・スコアカード（第12章）				
第 15 回	総まとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>① 指定したテキストの次回の講義内容に関する章を事前に読んでおくこと。</p> <p>② 小テスト、期末試験（振り返り）を実施するので、授業終了後は管理会計の全体像を意識し、テキストや授業で配布した資料を十分に読み込み、都度、復習をすること。</p> <p>③ ニュースや新聞に絶えず目を向けて、様々な組織における経営課題についての問題意識を養うこと。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
期末試験 小テスト 受講態度	(60%) (30%) (10%)	秀：様々な分野における管理会計の理論に関して、必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、課題を的確に解決できている。 優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、課題を理解している。 良：おおよその説明はできており、かつ、課題を理解している。 可：理論や課題の説明において、最低限の水準を満たしている。 不可：理論や課題が説明できていない。
テキスト (Textbook)		【書名】 管理会計レクチャー (基礎編) 【著者】 門田 安弘 (編著) 【出版社】 税務経理協会 【出版年】 2008年5月
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		必要に応じてレジュメや事例等を配布する。 適宜、参考文献を紹介する。
備考 (Other Information)		3分の1以上(6回以上)の欠席は、単位不可とする。 簿記論や会計学の学習経験があることが望まれる。工業簿記、原価計算論、その他経営学科目も履修することが望ましい。 一方通行の授業とならぬように、可能な限り双方向の授業を実施するため、積極的な参加を望む。 授業には、教科書の他、電卓も持参すること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		具体的なオフィスアワーの曜日・時限については、初回に連絡する。 質問があれば下記のメールでも適宜、受けつける。 Email: endo-nhd1@outlook.jp